

質問	ラコサミドドライシロップ 10%「ケミファ」の簡易懸濁法での投与は可能ですか？
回答	ラコサミドドライシロップ 10%「ケミファ」の簡易懸濁法を実施した結果、55℃のお湯で懸濁し、8Fr.の経管チューブを通過したことから、「適 1」と判定されました。また、懸濁液の安定性を確認した結果、問題となる変化は認められませんでした。さらに、懸濁液の pH は平均 6.0 でした。 詳しくは添付のデータをご覧ください。 本資料の情報に関する注意：本資料には承認を受けていない品質に関する情報が含まれます。試験方法等が確立していない内容も含まれており、あくまでも記載されている試験方法で得られた結果を事実として提示しているものです。医療従事者が臨床適用を検討する上での参考情報であり、加工等の可否を示すものではありません。
参考資料	【簡易懸濁法に関する資料】_ラコサミドドライシロップ 10%「ケミファ」